

平成 30 年度（2018 年度）

第 5 期 事業報告書

平成 30 年（2018 年）1 月 1 日から

平成 30 年（2018 年）12 月 31 日まで

公益財団法人 さわかみオペラ芸術振興財団

平成 30 年度（2018 年度）事業報告書

1. 総 括

平成 30 年度（2018 年度）、公益財団法人さわかみオペラ芸術振興財団における事業の取り組みにおいて、以下の成果が見受けられた。

- ① 野外オペラ公演を行うにあたり、名古屋城が有用性の高い場所であることを確認した。
 - ② 小規模のコンサートを増やし、日本各地にオペラを普及する取り組みを行った。
 - ③ 各イベント後にレセプションパーティーを行うことにより、公演後の新たな楽しみ方を確立した。
- ① 名古屋城における「ジャパン・オペラ・フェスティバル 2018」野外オペラ公演開催について

「ジャパン・オペラ・フェスティバル」のメインイベントである野外オペラは、日本の代表的な建築物を借景とし、背景を生かした舞台装置やそのスペクタクル感が醍醐味である。当財団は、すでに何度か野外オペラ公演を開催し、運営においても精通しており、日本においては第一人者であると自負している。しかし、それでも野外オペラ開催におけるいくつかの問題点をクリアするために毎回試行錯誤している。

その一つとして、可能な限りマイクを使用せずにダイレクトに歌声や演奏を来場者に届けたいと考えているが、野外で行う公演は音響が広がり抜けやすいという問題がおこる。その点、名古屋城は、建物、石垣に囲われていて、その問題をクリアしやすかった。

また、大方の建物は借景としては素晴らしくても、舞台やオーケストラピットの場所を確保することが難しく、また座席数を十分作れないことがある。しかし、今回工夫は必要であったが、十分な舞台の大きさと 1,600 席余りを用意することができた。

また、100 人以上の出演者たちの移動、来場者の交通手段なども、毎回課題にあがるころではあるが、名古屋城のすぐ横に地下鉄の駅があり、また名古屋駅から名古屋城の間もタクシーで移動しやすく、これらの問題もクリアできた。ホテルもそれなりの数があり、名古屋以外からの来場者も呼び込みやすかった。

このようなことから、名古屋城は野外オペラ公演に適している建築物の一つであると考え、再度 2019 年も名古屋城にて野外オペラ公演を行う事を決定した。

- ② 日本各地におけるオペラ普及の取り組み

さわかみオペラ財団の事業目的の一つである日本にオペラを普及するために、「最高

の音楽の旅シリーズ」(通称「旅シリーズ」)として日本各地にてオペラコンサートを行った。

これは、オペラ公演、クラシックコンサートはどうしても東京、大阪(神戸)に集中してしまうため、ファンは時間とお金をかけてそこに行くか、あるいは一度もオペラを直接聞いたことがない、と言う方が多くなってしまふ。そのため、地域を絞り、特に今までオペラを観たことがないと言う人々に、直接オペラ歌手の歌声を聞いてもらい、その声の迫力に感動してもらいたいと言うことから企画された。

また、他の地域からの参加者は、その地域にて観光も兼ねてオペラ公演やコンサートに来場してもらうことにより、地域の活性化、その地域の紹介に繋げることができると思う。

もう一点は、歌手、奏者たちに多くの出演の場を提供したいと考えている。イタリアより帰国した当財団の奨学生達をはじめ、多くの音楽家たちに出演の場を提供し、各地域に彼らのファンを増やしたい。

そこで、今年度は喜多方、徳島、東京と3つの地域にてコンサートを行い、好評を博した。

③ レセプションパーティーの充実

当財団の公演の特色の一つとして、オペラ公演、コンサート終了後にレセプションパーティーを行っている。そもそもはイタリアの歌劇場にて公演後に出演者、関係者を交えて、軽く飲食しながらその日の公演について語らっていることにヒントを得ている。

それを、出演者、関係者だけでなく、希望するお客様も交えてレセプションパーティーを行うことにした。それにより、来場者は各出演者のキャラクターや素顔に触れ、親近感を覚えてもらうことができた。特に若手の出演者には、積極的にお客様と話すことを勧め、自分たちの目標を語ってもらった。そのことにより、彼らのファンを増やすことができ、また、彼らの音楽活動をサポートする意義を来場者にも理解してもらうことができた。

また、名古屋城野外オペラ公演が雨天のため中止となり落胆していた来場者たちも、レセプションパーティーが当初から準備されていたから、そこで十二分に楽しんでもらうことができた。

このようにして、レセプションパーティーがさわかみオペラ財団の特徴であるとお客様に大きくアピールできたと思われる。

2. オペラ、コンサート公演開催事業

① ボローニャフィル首席による『超贅沢な弦楽五重奏』

ボローニャフィルハーモニーの首席5名を迎え、東京イタリア文化会館にて弦楽アンサンブルを開催した。今までサントリーホールでのオーケストラによる公演や浜離宮でのチェンバーコンサートはあったものの、首席のみで構成されたメンバーで行う公演は初めてだった。まさに

少数精鋭で、クオリティの高い「超贅沢な」コンサートとなった。

さらにチケットの価格を 3,000 円に設定したのは、より多くの人にクラシックに関わるきっかけになってもらうと同時に、ボローニャフィルの良さをより多くの人に知ってもらいたいとのことからであった。

公演名：ボローニャフィルの首席たちによる『超贅沢な弦楽五重奏』

日 時：2018 年 4 月 22 日（日） 開演 15：00

場 所：東京 イタリア文化会館

参加数：214 名

料 金：前売 3,000 円、当日 3,500 円 レセプションパーティー：あり

② 喜多方 酒蔵コンサート

～さわかみオペラ芸術振興財団からはじまる、最高の音楽の旅へ Vol.2～

「最高の音楽の旅シリーズ」として、今回は Vol.2 であるが（Vol.1 は 2017 年 12 月に東京で行われた）、地方で行う第一回目として縁のあった福島県喜多方市の大和川酒造北方風土館昭和蔵にてオペラコンサートを行う事となった。

地元の来場者からは、オペラ歌手の歌を始めて聞いたと言う方も多く、その声量に圧倒されていた。

また、東京をはじめとした他県からも 20 名程度参加し、喜多方の酒、食事、景色を楽しんでもらうことができた。地域活性化の一環として喜多方を紹介するのに十分寄与できたであろう。

公演名：喜多方 酒蔵コンサート

～さわかみオペラ芸術振興財団からはじまる、最高の音楽の旅へ Vol.2～

日 時：2018 年 5 月 26 日（土） 開演 17：00

場 所：福島 大和川酒造北方風土館 昭和蔵

参加数：170 名

料 金：前売 3,000 円、当日 3,500 円 レセプションパーティー：あり

③ プレイベント「オペラ『トスカ』を 100 倍楽しむために」

ジャパン・オペラ・フェスティバル 2018 の演目であるオペラ『トスカ』の演目知識の向上や、広報事前周知のために開催したプレイベントがこの「オペラ『トスカ』を 100 倍楽しむために」である。主には初心者向けであり、場所は東京・名古屋・京都、計 5 回に分けて開催した。

イベントの前半は、千葉商科大学教授 伊藤宏一先生による解説、そして後半はトスカの曲を中心としたコンサートを行った。

伊藤先生による解説は、時代背景からストーリーや見どころまで丁寧に説明されており、初めて見る方へもとても分かりやすいと好評を博した。コンサートは有名なオペラのアリアを歌唱することで、よりオペラ文化を近しく感じてもらうことができたであろう。オペラ文化のみならずクラシック音楽全体への意識向上にもつながったのではないだろうか。名古屋会場では名古屋市にも協力いただき、市をあげての行事となった。

公演名	日時	場所	参加者数	料金
オペラ「トスカ」を 100倍楽しむために	2018年6月9日	名古屋 名古屋市公館	73名	500円
	2018年6月10日	京都 堀川音楽高校	134名	
	2018年7月10日	名古屋 名古屋芸術創造センター	232名	
	2018年7月11日	名古屋 名古屋芸術創造センター	150名	
	2018年7月14日	東京 イタリア文化会館	279名	

④ ジャパン・オペラ・フェスティバル 2018

当財団において一番大きなイベントであるジャパン・オペラ・フェスティバル 2018の中で、メインの公演は名古屋市名古屋城にて行われた野外オペラ「トスカ」公演である。名古屋市は日本有数の経済都市であり、文化都市としてさらに発展したい、名古屋城をもっとアピールしたいとする名古屋市の思惑と当財団のイベントが合致し、名古屋城本丸御殿天守閣前に特設ステージを作った野外オペラ「トスカ」公演の開催が決定した。世界的にも有名な文化遺産である「名古屋城」で開催されるとあってメディア、名古屋市民からも大いに注目されることとなった。

残念ながら6公演中4公演は雨天中止となったが、開催できた2公演に来場したお客様からは「圧巻だった、また来年も名古屋でオペラを行ってほしい」と、多くの声をいただいた。

また、残念ながらオペラ公演が雨天中止になった際は、レセプションパーティーの開催時間を早めた。そして、出演者たちが盛り上げてくれたおかげで、来場したお客様には、このパーティーだけでも十分との声が聞かれたほど、喜んでいただくことができた。

ジャパン・オペラ・フェスティバルの二つのコンサートに関しても、好評であり、年々評判が高まっている。ただし、さらにアピールし来場者を増やすことを考える必要がある。

ジャパン・オペラ・フェスティバル 2018			
公演名	日時	場所	参加者数
名古屋 野外オペラ「トスカ」公演	2018年9月8日	名古屋市 名古屋城天守閣前特設ステージ	541名
	2018年9月9日		506名
	2018年9月11日		雨天中止
	2018年9月12日		雨天中止
	2018年9月14日		雨天中止

	2018年9月15日		雨天中止
サントリーホール	2018年9月5日	サントリーホール・コンサート	517名
チェンバーコンサート	2018年9月13日	浜離宮朝日ホール	289名

※名古屋公演はレセプションパーティーあり。

⑤ イタリアオペラの夕べ

～さわかみオペラ芸術振興財団からはじまる、最高の音楽の旅へ Vol.3～

喜多方酒蔵コンサートに次ぐ、地方公演第2弾。地域の方へのオペラ文化普及と、その地域の紹介も兼ねて他地域より来場者を呼び込むオペラコンサートである。

徳島においてもオペラを初めて聞く方も多く、オペラファンのすそ野を広げることができたといえよう。

また、反対に他地域から訪れた方に対して地元の方のホスピタリティが大変高く、オペラコンサートだけでなく、地元の方の協力による徳島の観光も大いに楽しむことができた。

レセプションパーティーにおいても、阿波踊り連（50名強のグループ）を登場させ、出席者全員で楽しむなど、今後徳島への再訪を希望する方が多くみられた。

公演名：イタリアオペラの夕べ

～さわかみオペラ芸術振興財団からはじまる、最高の音楽の旅へ Vol.3～

日時：2018年10月19日（金）開演 18：30

場所：徳島 ザ・パシフィックハーバー

参加数：200名

料金：前売 4,000円、当日 4,500円 レセプションパーティー：あり

番外編として、翌日20日（土）に徳島の幼稚園にて子供コンサートを開催した。これは、今後の当財団の活動の一つとして、子供へのオペラコンサート開催も視野にしているためである。そしてこの幼稚園は、子供たちへの英語教育や音楽教育に力を入れ、クラシックにも親しんでいる子供が多かったため、このようなコンサートを行う第一回目として適した学校であった。

ここでのコンサート開催にて学んだことを元に、2019年3月に東京にて子供コンサートを行うこととなった。

⑥ オペラ「トスカ」コンサート形式

～さわかみオペラ芸術振興財団からはじまる、最高の音楽の旅へ Vol.4～

9月に名古屋にて開催されたジャパン・オペラ・フェスティバル2018の「トスカ」公演を、東京の方にも観ていただきたいという思いと、表舞台に立つことができなかつたカバーキャスト

ト二人の成果を披露するため、コンサート形式として「トスカ」公演を行う。

今回はコンサート形式とはいえ、ミニオペラと言わんばかりの演技も入り、大変見ごたえがあり、終演後も多くのファンの方が出演者の周りを囲んだ。ただし、今回は演出家が不在だったので、反省すべき点も見受けられた。次回以降に繋げたいと思う。

また、今回のレセプションも多くの参加があり、出演者との写真撮影や歓談に花を咲かせ、オペラ、コンサート後の余韻を楽しむ当財団独自の良い流れができてきている。会場は東京だが、実際に名古屋から足を運んでくれた方もいた。

公演名：オペラ「トスカ」コンサート形式

～さわかみオペラ芸術振興財団からはじまる、最高の音楽の旅へ Vol.3～

日 時：2018年12月22日（土）開演 15：00

場 所：東京 イタリア文化会館

参加数：230名

料 金：前売 3,500 円、当日 4,000 円 レセプションパーティー：あり

3. オーディション・育成事業

① さわかみオペラ財団オペラ歌手オーディション 2018

設立当初より世界のトップを目指す歌手を発掘・育成することを目的としたオーディションを行っている。合格者にはイタリア留学のための奨学金、イタリアの歌劇場へ出入りできる権利等が付与される。2017年までで新規助成19人+継続助成7人、延べ26人へ奨学金を助成している。2018年には新たに後田翔平（テノール）、黒田詩織（ソプラノ）の2人と継続7人への助成が決定した。また、今までの合格者の中から、舞台に出演し、就労ビザを得るものも出てきた。

東京での審査員には、バレルモ・マッシモ劇場のキャスト担当者や、イタリアにおいては「トスカ」の歌い手として有名なライナ・カバイヴァンスカ氏、イタリアを代表するバリトン歌手のレナート・ブルゾン氏などを招き、厳正な審査を行った。

また、一方で、ジャパン・オペラ・フェスティバルにおけるキャストオーディションは、日本人だけでなく国を問わずに行っている。その中から数名をキャストとして採用、ただしどうしてもイメージ通りの人物が見つからなかったキャストは個別に交渉を行った。

2018年度実績

新規合格者：後田翔平（テノール）、黒田詩織（ソプラノ）

継続合格者：武井基治（テノール）、藤山武志（バリトン）、岡村美和子（ソプラノ）

岸七美子（ソプラノ）、原璃菜子（ソプラノ）、田中絵理加（ソプラノ）

② サントリーホール共演：弦楽奏者オーディション、マスタークラス

ジャパン・オペラ・フェスティバルにてボローニャフィルと共演する日本人奏者のオーディションを行う。また、イタリアの演奏法を学んでもらい、将来、海外にて活躍する奏者の育成を目的として、マスタークラスを行った。

マスタークラスについては、日本にてボローニャフィル首席達と1時間程度のマンツーマンのレッスンをを行うほか、合格者の中から希望者はイタリア・ボローニャにて1～2か月程度の研修を受けてもらった。彼らは、ボローニャフィルハーモニーの手厚いプログラムにより、現地にてボローニャフィルと共にコンサートにも数回出演することができ、大きな成果を得ることができた。

2018年度実績

合格者：尼崎有実子 (Vn)、小野唯 (Vn)、久保田綾香 (Vn)
黒川美咲 (Vc)、久保田佑里 (Vc)、青木優果 (Cb)

③ コーロカミーノ～Coro Cammino

今年度より、一般向けにコーラス教室を開催した。内容は、月に2回程度、子どもと大人の部門に分け、当財団のスタッフ（音大出身、オペラ歌手や音楽教育を専門に学んでいる）指導にて行われている。

子供たちには、自分を表現する力を学び、リズム感・音感を磨いてもらい、将来的にはオペラ、クラシックの奏者となる者やファンを増やすことを目的とする。大人も、オペラ歌手による本格的な歌唱指導、演出家による演技指導を受け、充実したライフスタイルの一環となってもらいたいと考える。

また、彼らには年1、2回程度、コンクールなどに参加するなど、目標も持ってもらい活動している。

4. 体験事業～イタリアオペラツアー～

日本においてオペラを普及させるためにも、多くの方にその楽しさ、素晴らしさを経験してもらい、それをまた伝えてもらいたいと考えている。そのために、ヨーロッパでオペラが長く愛されている理由や、日本との違い、オペラを普及させるためのヒントを得るために、希望者を募りイタリアの歌劇場を訪問するツアーを開催した。また、現地にて研修中の当財団奨学生も招き、彼らの研修生活を実際に見てもらい、会員のサポートがいかに関わりの成長につながったかを理解してもらおう。

2018年さわかみオペラ財団イタリアオペラツアー

日程	場所	備考
6月16日	成田空港出発	
6月17日	カターニャ	散策（大聖堂・象の泉・ペッリーニ劇場）
	タオルミーナ	散策（ギリシャ劇場・ウンベルト通り・市立公園）
6月18日	パレルモ	散策（パレルモ大聖堂・ノルマンニ宮殿）
6月19日	パレルモ	観劇（マッシモ劇場『カヴァレリア・ルスティカーナ』）
6月20日	ローマ	コンサート（日本大使館 サロンコンサート）
6月21日	ローマ、フィレンツェ	散策（サンタンジェロ城・ミケランジェロの丘）
6月22日	パルマ	見学（チーズ工場、生ハムづくり）
6月23日	トリエステ（希望者のみ）	観劇（ヴェルディ歌劇場『椿姫』）
6月24日	成田空港到着	

5. 海外オペラ事業

2018年度の海外でのオペラ公演事業については、準備段階であり特に活動せず。

2018年から2019年にかけて、イタリア・ボローニャフィルハーモニーと提携し、オペラ公演、コンサートをハワイにて行う予定であったが、共催となる企業との条件が折り合わなかった。

そこで2019年度は、当財団主催にてハワイのユースオーケストラに、イタリアオペラの指導と彼らがその成果を披露するコンサートを検討中である。

これは、普段はアメリカ式の奏法を学んでいる米国の若手奏者に対し、イタリアのオペラ界で活躍している日本人指揮者やイタリアのオーケストラの首席から彼らの演奏法を指導してもらう。そのことにより、米国の若手奏者はバラエティに富んだ奏法を学び、コンサートでは観客もその違いを感じてもらう。また、日本人指揮者の活躍をヨーロッパ以外にも紹介することにより、日本人音楽家のクオリティの高さを世界に紹介することができる。さらには、米国にもイタリアオペラに親しんでもらうことにより、日本のみならず世界にオペラを普及する一環とすることができる。と考える。

さらには、日本からもツアーを企画し、日欧米のクラシック音楽に対する考え方や演奏法の違いを体験してもらい、より広い視野でオペラ振興に協力を仰ぎたい。

6. 2019年度に向けて

2019年 年間スケジュール		
日 程	イ ベ ント	場 所
1月22、23、24日	奨学金助成オーディション	東京
2月5、6、7、8日	奨学金助成オーディション JOF2019 キャストオーディション	イタリア
3月3、4、5日	弦楽器オーディション	東京
3月6日	マスタークラス	東京
3月17日	子供コンサート	東京
5月18日	喜多方・酒蔵オペラコンサート	福島
6月15日～23日	イタリアオペラツアー	イタリア
6月～7月	プレイベント 「オペラ『蝶々夫人』を100倍楽しむために」	東京・名古屋・ 京都
9月26、27、28、29日	ジャパン・オペラ・フェスティバル2019	名古屋・川崎
11月半ば	ハワイユースオーケストラコンサート	海外
12月14日	徳島オペラ「トスカ」公演ハイライト形式	徳島

2019年の目標

- ・ジャパン・オペラ・フェスティバルの成功
- ・各コンサート、8割以上の集客
- ・アミーチ会員の増員